

令和3年度 鴻巣市立吹上中学校 教職員による学校自己評価

5：よくできた 4：だいたいできた 3：あまりできなかった 2：ほとんどできなかった

評価項目	5	4	3	2	前年度	増減	R3年平均	差	分析と改善策
学校教育目標と今年度の重点等									●学校教育目標 本校の教育目標は「進んで学ぶ生徒」「心豊かな思いやりのある生徒」「たのしい生徒」であり、知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育てることを目指して取り組んできました。特に今年度は開校75年目に当たることから、節目の年と位置付けて「当たり前の挑戦」を全学年にしました。各学級において同一歩調で動くことを継続し、当たり前のこともおろそかにしない、前向きな生活が送れています。今後も、生徒の実態に応じた重点を定めて、一体感と学びがいのある学校づくりに努めます。 ●学習指導 3年生中心であった数学の少人数指導を、前期・中期・後期に分けて全学年に拡大しました。また、毎時間の小テストの実施など教科内で基礎学力向上策を申合せて取り組みました。保護者アンケートでは、策が必ずしも完全に実施されていないのご指摘もあり、臨機応変の継続に努めます。分かりやすい授業については、生徒アンケートによる数値は向上していますが、職員による評価では低下している状況です。今年度、ICT活用を新たな評価項目に加えましたが、全ての教科で電子黒板等の活用が進んでいます。今後、生徒用タブレットのさらなる活用に取り組んでいきます。 ●生徒指導 明るく節度ある生活が送れています。さらなる向上のため、スマホルールを生徒の話し合いにより定めました。しかし、登下校の交通マナーや公共施設での過ごし方についてご意見をいただくこともありました。即座に巡回指導をするともに、地域で生活することについて意識を高める指導をしています。いじめの早期発見のためには、毎月のアンケート、定期的な声掛けを見守りを継続しました。行事縮小により生徒と共に過ごす実質的な時間は例年より減っていますが、よりアンテナを高くして職員間の情報を共有します。 ●健康・安全指導 健康面では、生徒会活動を生かしながら熱中症と感染症対策を強化しました。安全については、避難訓練を計画的に実施するとともに、学期初めにPTAの協力により登校指導を行いました。体力向上については、本校生徒の弱点である持久力強化の取組を体育授業で継続します。
学年・学級経営									●教育相談 毎日の会話・やり取り帳から生徒理解を進め、相談しやすい関係づくりに努めました。よりカウンセリングの必要な場合は、さややか相談室や関係機関の力も借りながら悩みの解決を図ります。 ●家庭との連携 学級・学年通信によって学校生活の様子や今後の予定をお知らせし、電話連絡や家庭訪問も行いました。授業参観は実施できませんでしたが、ご要望は、随時お受けしています。 ●環境整備 保護者アンケートでは、環境整備が最も評価の高かった項目の一つでしたが、職員による自己評価は低下しています。花壇の花植えと水やりは生徒会活動として行い、敷地内の除草は環境美化委員の力を借りています。校内の掲示物は生徒作品や職員の作成物のパンフレットを考えて整えています。評価数値が低下していることから、より季節感ある掲示と頻繁な張り替えに努めます。また、日常の清掃活動にも力を入れます。
教育課程									●教育計画 昨年度に続き、コロナ禍の影響により授業や行事が制約されたため、時期を要せざるを得ないことがありました。生徒と職員のアイデアを生かして充実を図り、その活動状況を公表したHPIはアクセス数が急増しています。指導が十分でなかった点は年度内に補充します。また、年間指導計画を職員室に常備し、進捗を目で確認しながら確実な実施に努めています。 ●学習評価 今年度から新学習指導要領が全面実施となり、シラバスや1学期末のお知らせのとり、評価の観点などの教科も3点に整理されました。これに照らして多様な評価ができるようさらに工夫します。その評価方法は生徒に説明し、公正・公平な評価に努めます。 ●指導の工夫 授業のめあて・目標の提示については、生徒アンケートは向上していますが、職員評価では低下しています。授業の分かりやすさについては、学年が上がるほど生徒の評価数値が下がる傾向があります。この結果を踏まえて、達成感のある授業を目指します。
その他									●部活動 新人戦やいくつもの大会が中止となり、部活動は我慢の年となりました。しかし、運動部でも文化部でも出場した大会で目を見張る活躍があり、本校の名を著しく高めました。保護者の皆様との連携をさらに強めるため、全ての部により一斉の部活動保護者会の設定について検討していきます。また、朝練習後の朝読書にしっかりと取り組み、落ち着いて1日の学級生活を始められるよう、年度当初のガイダンスで指導します。 ●職員連携 会議で申し合わせた事項は共通理解・共通行動に努めましたが、No.41の項目において5の段階と4の段階がちょうど半々であり、十分ではないようです。お互いに確認しあいが、漏れないように取り組みます。 ●施設管理 毎月、職員が分担して施設の安全点検を実施するほか、日常の危険箇所の把握に努めました。市に申請した今年度の修繕箇所は約50件に上り、そのほか職員が自力で修理した場所もあります。結果、大きな事故は発生していません。特別教室等は、整理整頓に努めるとともに不用品は適切に廃棄します。また、カキの管理も適切に行います。 ●事故対応 生徒の体調不良やケガの状態によって救急車を要請した際には、家庭・病院への連絡、他の生徒への指示等、職員が連携して迅速に対応しました。評価数値は低下していますが、甚大な生徒事故は発生していません。安全第一・健康優先を念頭に、事前の事故防止にも十分注意します。 ●服務規律 来校者や電話への丁寧な対応に努めました。体罰や会計事故、ワイセツ行為、飲酒運転等、教職員不祥事の防止のため、校内研修に取り組みました。生徒の個人情報保護のため、特に定期テスト期間中は職員室の出入りを制限していますが、より一層厳正に取り扱います。また、職員の机上整理にも努めます。担当する校務の改善について評価が低下していることから、新しい発想を大切にします。
平均					4.49		4.40	-0.09	本校職員による評価結果を、昨年度評価と比較して表にまとめています。このうち、数値に変化のあった項目を中心に、今年度の取組を振り返りました。分析に当たっては、保護者・生徒のアンケート結果も踏まえています。 来年度も、職員一丸となって生徒一人一人の成長を図ってまいります。引き続きご理解とご協力

本校職員による評価結果を、昨年度評価と比較して表にまとめています。このうち、数値に変化のあった項目を中心に、今年度の取組を振り返りました。分析に当たっては、保護者・生徒のアンケート結果も踏まえています。

来年度も、職員一丸となって生徒一人一人の成長を図ってまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。